

令和5年度金華防災訓練実施要項

実施日: 令和5年11月4日(土)

開始時刻: 午前8時30分～11時00分

場所: 岐阜小学校校庭・体育館、金華公民館

※ 雨天場合、体育館

主催 金華自治会連合会
担当 第2ブロック

金華自主防災隊「小隊長・副小隊長」、自治会 集合場所の確認表

() 地区 自治会名 ()

1 「小隊長・副小隊長」の決まっていない自治会、
変更のある自治会は、次の欄に記入してください。

【小隊長】

現	新
---	---

【副小隊長】

現	新
---	---

2 「自治会の集合場所」の決まっていない自治会、
変更のある自治会は、次の欄に記入してください。

現	新
---	---

必ず提出してください。

回覧

金華地区

防災訓練

主催 金華自治会連合会

・ 11月4日(土)

・ 8時30分集合

()自治会

・ 場所()

・ 安否確認を実施

その後、自宅へ戻る(自宅避難者)でカウント

します。※自治会長は避難場所へ

・ 参加者 各世帯一人

・ 集合場所へ来れない方は、玄関
まで出る。

・ 玄関に出れない方は、近所の方
が、確認に行きます。

2023年 防災訓練の重点その1

地震発生時の対応の流れ

地震の発生 震度5弱想定

2023年11月4日(土)

開始時刻 8時30分

まず、自分の身を守る

火災の発生に
細心の注意払
いましょう

チーム(班)を含めた
まわりの状況を確認

危険が少ない

火災の危険あると
あると判断

日頃から、一
時集合場所
に至る複数の避
難経路を確認
してくだ
さい。

狭い道路では、ブロック
塀や建物倒壊によって、
道路が通れなくなる場合
が想定されますので
複数の避難経路を確認
実際に歩いてみる。

一時集合場所
に集まる

落ち着いて
行動しまし
よう。

火災は一気に燃え広がる
ことはありません。落ち
着いて行動しましょう。

地域での助け愛

火災の危険が無く一
時集合場所が安全

避難の時隣近
所に声をかけ
ましょう。

避難するには、ご近所の
高齢者、妊婦の方、幼児
がいるお宅などに、一声
かけて避難しましょう。
声かけた情報(返事がな
家屋が倒壊している場合
は下敷きになった人がい
る可能性があります)
は大切な情報になります。
一時集合場所にみんなで
情報を持ち寄りましょう

一時集合場所で
待機

※安否確認
・世帯人数
・負傷者数
・家屋倒壊状況
・避難所への避
難の有無
・要配慮者の支
援

火災の危険が無く
なる

家害あるか確認

怪我や危険が伴うので
救出活動は一人ではなく、
複数で行うようにします。
柱や梁に挟まれた人を発
見したら、皆で声を掛け
て助けます。意識がある
かどうか認識し、励ます
ことも重要です。
また、救済資機材の保管
場所も確認しましょう。

被害がない

被害あり生活が困難

一人ではな
くみんなで
助け合って
救出活動し
ます。

家に戻る・
在宅避難

避難場所・避難
所へ避難
(岐阜小学校)

自治会安否確認用紙

() 班

第3ブロック安否確認用紙

22 年 月 日

報告完了時時刻 時 分

中隊長 松原 和生

NO.	世帯代表名	世帯人数	全員無事○×	無事人数	負傷者数	不明者数	自宅避難○	避難所○
1		名						
2		名						
3		名						
4		名						
5		名						
6		名						
7		名						
8		名						
9		名						
10		名						
11		名						
12		名						
13		名						
14		名						
15		名						
16		名						
17		名						
18		名						
19		名						
20		名						
21		名						
22		名						
23		名						
24		名						
25		名						
計	世帯	名						

	自治会名	世帯数	全員無事○×	無事人数	負傷者数	不明者数	自宅避難○	避難所○
9 地 区	本町1丁目	36						
	本町2丁目	17						
	本町3丁目	16						
	靱屋町	21						
	ユーハウス岐阜	29						
小計	小隊長	119						
10 地 区	末広町北組	28						
	末広町南組	41						
	末広町西組	31						
	新桜町	14						
小計	小隊長	114						
11 地 区	上竹屋町	17						
	中竹屋町	12						
	キャスルハイツ	42						
	間之町・大和町	8						
小計	小隊長	79						
12 地 区	米屋町	21						
	ユーフォリア岐阜米屋	25						
	伊奈波通1丁目	44						
	伊奈波通2丁目	9						
	伊奈波通3丁目	11						
	万力町	22						
小計	小隊長	132						
合計		444						

- 1 日時 令和5年11月4日(土) 午前 8時30分 開始 午前 11時00分 終了
- 2 場所 岐阜小学校 (校庭・体育館等)、金華公民館、伊奈波神社、岐阜公園等
- 3 想定 震度5弱の地震 ※令和6年度 震度5強、※令和7年度 震度6弱想定予定
- 4 主催 金華自治会連合会
- 協力 岐阜都市防災部・岐阜中消防署・金華消防団・金華水防団・金華女性の会・赤十字奉仕団・青少年育成市民会議・岐阜中央中学校PTA ※岐阜中消防署 担当大野

5 防災訓練の目標

テーマ ～ 自分たちの地域は自分たちで守る ～ ※ 自分たちの「防災訓練」

- (1) 各自治会での安否確認を正確・迅速に実施する。
 - ・要支援者の安否を複数で確認
- (2) 安否確認の情報の伝達を迅速に行う。
 - ・自治会 → 小隊長 → 中隊長 → 隊長(本部)
- (3) 要支援者・負傷者の安全に搬送する。
- (4) 避難所開設に向けて迅速に準備する。

6 災害と状況の想定

震度5弱の地震により家屋の倒壊は見られないため住民の大半は自宅避難となる。ライフラインは、一部電柱の損害により停電が発生した地区もある。また、揺れにより固定していない家具が移動しぶつかり打撲や食器が棚から落ちて足を怪我した人も見られる。1人暮らし高齢者は恐怖を覚え避難所へ避難するといった状況である。

※ 第1ブロック内で8名の負傷者、避難者5名が発生したことを想定する。

7 訓練内容

8時30分 ～ 10時30分 ※10時30分に片付けを終えるようにする。

(1) 防災行政無線(屋外スピーカー)放送

ア 午前8時20分頃

「上りチャイム4音」

「こちらは金華自治会連合会です。本日午前8時30分から金華地区住民による訓練の実施に伴い、防災行政無線による訓練放送を行います。」(2回)

「下りチャイム4音」

イ 午前8時30分頃

「上りチャイム4音」

「こちらは金華自治会連合会です。只今から訓練放送を行います。」(2回)

「強い揺れが発生しました。金華地区住民の方は、自治会集合場所に避難してください。」(2回)

「こちらは金華自治会連合会です。訓練放送を終わります。」

「下りチャイム4音」

(2)各自治会毎に安否確認

各自治会「集合場所集合」→ 各世帯1人は集合し、できる自治会は班長が確認する。

※集合場所にどうしても来れない方は、玄関に出ていただくようお願いする。要支援者で玄関に出てこれない方の所へは複数で家庭訪問する。

(3)各地区「避難場所へ移動」→ 自治会長と中学生は各地区の指定「避難場所へ移動する。各自治会長は小隊長へ安否報告する。次に小隊長は集計し中隊長へ安否報告する。次に中隊長集計し隊長へ安否報告する。

(4) 各地区「避難所へ移動」避難所開設・負傷者の対応 → 自治会長と中学生が共同で行う。

※ 避難場所が岐阜小学校に指定している自治会が大半である。一部、岐阜公園・伊奈波神社に指定している自治会は「避難所」となっている岐阜小学校へ移動する関係で安否確認が遅れる。

※ 避難所の開設は自主防災組織で行う。運営は、行政が来るまでは自主防災組織、行政が到着したら共同で運営する。長期化した場合、避難者が主体で運営する。

【第1ブロック】 負傷者(8名)・避難者(6名)の運搬 ※ () 地区の避難場所 指導:中消防署、金華消防団

中隊長 林 憲和 ※中学生23人 参加者は、事前に自治会長に報告する。

1地区(その他)	2地区(岐阜公園)	3地区(岐阜小学校)	4地区(岐阜公園)
小隊長 近藤 繁雄	小隊長 後藤 勝利	小隊長 鈴木 肇	小隊長 安藤 武夫
副小隊長 後藤	副小隊長	副小隊長 木村 宣治	副小隊長 子安 宏樹
自治会長 今井 秀周	自治会長 加野 直巳	自治会長 杉山 明人	自治会長 武井 英男
自治会長 松井 芳樹	自治会長 山田 勝昌	自治会長 古田 志帆子	自治会長 原 範恵
自治会長 永井 京子	自治会長 岩佐 純一	自治会長 武藤 啓司	自治会長 安田 正美
自治会長 小森 常宏	自治会長 堀田 浩司	中学生 人	自治会長 山口 三八生
自治会長 田代 達生	自治会長 後藤 康利		中学生 人
自治会長 中村 明博	中学生 人		

◆運搬用具 担架 2台 車椅子 3台

◆活動内容

- ・負傷者(8名中学生)を2台の担架で救護室(公民館第1会議室)へ運ぶ。担架は6人一組<負傷者1名担架を持ち人4名(中学生3~4名)、誘導1名(自治会長) ※中学生2名は担架を持ってスタート地点に戻り、交代する。他の人は、応急手当の訓練を実施する。指導は赤十字奉仕団が当たる。
- ・高齢者の避難者(6名)は車椅子3台を使用し3人一組で公民館ロビーまで運ぶ。※避難者は自治会長車椅子の操作は中学生2名。

※活動が終了したブロックは、他のブロックの支援を行う。

【第2ブロック】 本部テント設営 ※中学生12人 指導:金華水防団、行政派遣職員

中隊長 安部 敏雅

5地区(岐阜公園)	6地区(岐阜小学校)	7地区(岐阜小学校)	8地区(岐阜小学校)
小隊長 加藤 宗治	小隊長 梅田 幸次	小隊長 川出 雅俊	小隊長 巖根 滋朗
副小隊長 小林 孝夫	副小隊長 松原 隆行	副小隊長 今井 宗久	副小隊長 田中 斉
自治会長 村井 行雄	自治会長 松原 洋子	自治会長 安部 敏雅	自治会長 山田 雅春
自治会長 道家 雅之	自治会長 森 哲宏	自治会長 児島 和晃	自治会長 久保 浩司
中学生 人	自治会長 河瀬 佳之	自治会長 神山 嘉子	自治会長 加藤 幸通
	自治会長 井上 晃	中学生 人	中学生 人
	中学生 人		

◆運搬用具 公民館(事務室)から防災倉庫の鍵 防災倉庫 長机6 テント 一張 メガホン大 1
自主防災組織本部の垂れ幕

◆活動内容 本部設営

- ・公民館(事務室)から防災倉庫の鍵を借り倉庫を解錠する。※小隊長の指示を出す。
 - ・倉庫から長机6台を所定の場所へ置く。※本部(2台)各ブロック(1台)、本部用テント(1張)を運搬し張る。又、メガホン(大1台防災倉庫を本部に設置する。
 - ・自主防災組織本部の垂れ幕を設置する。※運搬はリヤカーを活用
- ※活動が終了したブロックは、他のブロックの支援を行う。

【第3ブロック】体育館 避難者のテント設営 ※中学生27人 指導:金華水防団、行政派遣職員

中隊長 松原 和生

9地区 (岐阜小学校)	10地区 (岐阜小学校)	11地区 (伊奈波神社)	12地区 (伊奈波神社)
小隊長	小隊長 服部 直人	小隊長 前畑 孝二	小隊長 松枝 秀顕
副小隊長 岡本 雄三	副小隊長 伊藤 佳久	副小隊長 浅野 春子	副小隊長 川島 徹郎
自治会長 大野 利治	自治会長 平光 勝弘	自治会長 大塚 和治	自治会長 酒井 隆史
自治会長 大江 直行	自治会長 松野 一隆	自治会長 牧野宇右衛門	自治会長 白木 良則
自治会長 辻 好信	自治会長 野村 広志	自治会長 棚橋 芳雄	自治会長 小牧 卓司
自治会長 堀 茂子	中学生 人	中学生 人	自治会長 北出 幸夫
自治会長 太田 知子			自治会長 水谷 啓二
中学生 人			中学生 人

◆運搬用具 避難所(体育館)にテント5張

◆活動内容

- ・防災倉庫からテント5張を運び、張る。※張って収納までが活動である。
- ※活動が終了したブロックは、他のブロックの支援を行う。

【第4ブロック】簡易トイレ・発電機を設営 ※中学生19人 指導:金華消防団、行政派遣職員

中隊長 加藤 麗己

13地区 (伊奈波神社)	14地区 (岐阜小学校)	15地区 (岐阜小学校)	16地区 (伊奈波神社)
小隊長 鹿島 宏治	小隊長 寺沢 昭夫	小隊長 鷺見 信義	小隊長 加藤 和義
副小隊長 金森 正親	副小隊長 山本 富昭	副小隊長 細田 京子	副小隊長 船戸 喜太郎
自治会長 三品 喜照	自治会長 寺澤 祥一	自治会長 貝崎 浩一	中学生 人
自治会長 近藤 寛	中学生 人	自治会長 森 博子	
自治会長 立川 公一		中学生 人	

◆運搬用具 マンホールを活用した簡易トイレ(1台)、発電機の作動(2台)

※張って収納までが活動である。

◆活動内容 マンホールを活用した簡易トイレ簡易トイレの設営、発電機の作動を実施する。

- ・防災倉庫から簡易トイレ(1台)を倉庫前のマンホールの上に設営する。また、発電機(2台)の作動を行う。

※活動が終了したブロックは、他のブロックの支援を行う。

【赤十字奉仕団】

◆活動場所 金華公民館 第3会議室

◆活動内容 ・第1ブロックの負傷者(8名中学生)が担架で救護室(第1会議室)に運ばれてくる。その負傷

者への応急手当を行う。※中学生に応急手当体験も可です。

- ・車椅子での高齢者の避難者(6名)は、安心できるような対応を行う。

【女性の会】

◆活動場所 金華公民館 ロビー

◆活動内容 本来は避難所における「給食活動」を行う。今回は、第4会議に保管してある食糧を仕分けと参加者への配布する。女性の会 → 各地区長 → 自治会長 中学生?

(4) 全体会 10時30分 開始

- ① 金華自治会連合会会長挨拶
- ② 岐阜中消防署からの総評
- ③ お礼の言葉(第2ブロック長)
- ④ 諸連絡

(5) 実行委員打合せ

- ・各地区小隊長
- ・第2ブロック自治会長

(6) 体育館・公民館・防災倉庫施設の片付け・施錠
第2ブロック自治会長

◆ 令和5年度 災害時金華地域派遣職員

○責任者	古山 尚宣 男 (京町)	継続
担当2	大野 由貴 女 (金華)	継続
担当3	長屋 輝夫 男 (長良東)	新規
担当4	村瀬 真夕 女 (京町)	新規
担当5	河田 壮平 男 (金華)	継続
担当6	森口 真行 男 (各務原)	新規
担当7	松原 生真 男 (金華)	新規

◆ 岐阜中消防署 担当 大野 ※雨天の場合 出労なし

8 雨天時内容 (避難場所岐阜小学校体育館)

(1) 各自治会毎に安否確認

各自治会「集合場所集合」→ 各世帯1人は集合し、できる自治会は班長が確認する。

※集合場所にどうしても来れない方は、玄関に出入りしていただくようお願いする。要支援者で玄関に出られない方の所へは複数で家庭訪問する。

(1) 防災行政無線(屋外スピーカー)放送

ア 午前8時20分頃

「上りチャイム4音」

「こちらは金華自治会連合会です。本日午前8時30分から金華地区住民による訓練の実施に伴い、防災行政無線による訓練放送を行います。」(2回)

「下りチャイム4音」

イ 午前8時30分頃

「上りチャイム4音」

「こちらは金華自治会連合会です。只今から訓練放送を行います。」(2回)

「強い揺れが発生しました。金華地区住民の方は、自治会集合場所に避難してください。」(2回)

「こちらは金華自治会連合会です。訓練放送を終わります。」

「下りチャイム4音」

(2)各自治会毎に安否確認

各自治会「集合場所集合」→ 各世帯1人は集合し、できる自治会は班長が確認する。

※集合場所にどうしても来れない方は、玄関に出ていただくようお願いする。要支援者で玄関に出てこれない方の所へは複数で家庭訪問する。

(3) 自治会長と中学生は自治会集合場所から岐阜小学校へ移動。各自治会長は小隊長へ安否報告する。次に小隊長は集計し中隊長へ安否報告する。次に中隊長集計し隊長へ安否報告する。

(4) DVD「備えることの重要性(自助)」 岐阜市都市防災部都市防災課 30分程度

(5) 地区毎に予想される災害の確認

※地震・洪水・内水・土砂災害ハザードマップより

- ◆ 集中豪雨(ゲリラ豪雨※線状降水帯による大雨)や台風により地区によっては次の被害が想定される。
 - ・長良川が氾濫した場合、「浸水2.0m~5.0m以上」地区、湊町・上材木町・元浜町・大宮町・益屋町・木挽町・山口町・梶川町・上茶屋町・下茶屋町・伊奈波通り・末広町・新桜町・西材木町・中大桑町・大工町※(金華公民館は利用できない。但し、岐阜小学校3階以上は避難所として利用可能)
 - ・「洪水による通行不可区間」、長良橋通りの1部・岐阜公園の北側の道路
 - ・「土砂災害特別警戒区域・土砂災害特別警戒区域」湊町・大宮町・夕陽ヶ丘・松山町・松下町・松ヶ枝町・末広町・万力町・常磐町
- ◆ 地震による被害
 - ・家屋の倒壊や火災
 - 「建物の倒壊危険度25%以上、「20%~25%」多く占めている。
 - ・液状化危険度の高い地区、湊町・上材木町・元浜町
- ◆ 暴風(竜巻など)の被害
 - ・家屋や電柱の倒壊や倒木

備考 令和6年度 金華防災訓練

期日 令和6年11月2日(土)

想定 震度5度強 一部地区で火災発生等

訓練内容 各自治会 自治会長の他2人避難者とする予定

・避難所設営、負傷者の搬送、初期消火(消火器、テント内煙幕体験)

※ 起震車体験(中消防署に1台)申請しても確立が低い。本年度中申請したい。

【自主防災組織の役員の主な役割】

役員	役割(主な活動内容)
隊長 (自治会連合会会長)	災害発生後、全体被害状況の把握に努め、行政と連携し被害を最小限に抑える。 ・4ブロックの迅速な安否確認 ・避難所の開設 ・被害状況によっては、関係諸機関へ支援の要請
中隊長 (ブロック長)	災害発生後、迅速にブロック被害状況の把握に努め、隊長へ報告する。また、与えられた避難所開設、負傷者・避難者の対応に努める。 ・岐阜小学校(避難所)避難場所各地区的迅速な安否確認(地区によって避難場所が異なる場合、携帯電話を活用して連携を図る。) ・小隊長と連携し避難所開設、負傷者・避難者の対応に努める。 ・活動開始、活動終了の指示をする。
小隊長	災害発生後、迅速に各自治会の被害状況の把握に努め、ブロック長に報告する。与えられた避難所開設、負傷者・避難者の対応に努める。 ・所定の避難場所各自治会の迅速な安否確認 ・自治会長と連携し避難所開設、負傷者・避難者の対応に努める。
副小隊長	災害発生後、小隊長の指示もと迅速に各自治会の被害状況の把握に努め、ブロック長に報告する。与えられた避難所開設、負傷者・避難者の対応に努める。 ・所定の避難場所各自治会の迅速な安否確認 ・自治会長と連携し避難所開設、負傷者・避難者の対応に努める。
自治会長	災害発生後、自治会の集合場所で自治会の各世帯の被害状況の把握に努め、所定地区の避難場所で小隊長に報告する。与えられた避難所開設、負傷者・避難者の対応に中学生と一緒に努める。 ・自治会の中学生の参加者の把握(自治会長宅に防災訓練に参加する中学生が報告にいきます。) ・自治会の会員に集合時刻・集合場所の周知徹底 ・安否確認の徹底(迅速な安否確認する方法は各町内で工夫する。例えば班長の活用 (各世帯1人参加、どうしても集合場所にこれない方は、玄関に出で近所の方に「無事」であることを伝える。出でこれない方には近所の方で声かれをする。) ・要支援者の安否確認は、昨年まで実施してきた「黄色いタオル」の活用も可とする。※自治長か支援者で確認する。 ・安否確認が終了したら、会員は自宅に戻るよう指示する。 ・自治会長と中学生は、所定の避難場所へ行き役割を果たす。 ※ヘルメット着用 自治会ののぼり旗なし